

No.34 事業名 医師修学資金貸与事業の継続	24年度 予算額	22,500 千円	新規 拡大 継続
-------------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

構成市（豊岡市及び朝来市）が資金を拠出し、医師を目指す学生を経済的に支援することにより、公立豊岡病院組合立病院で勤務する医師の確保を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

構成市が拠出する資金を原資に、公立豊岡病院組合医師修学資金貸与制度により修学資金の貸与を受ける者を対象に修学一時資金を貸し付ける。

入学金、授業料、施設設備費、教育充実費等正規の修学年限内に本人が支払うべき学費の範囲内で1千万円を限度とする。

公立豊岡病院組合に採用後6年以内に、月賦若しくは半年賦の方法で返還する。

(2) 事業期間

平成19年度～

(3) 事業主体

公立豊岡病院組合

3 24年度予算

(1) 予算額

22,500千円（豊岡市負担額）

24年度全体事業費30,000千円（豊岡市3/4、朝来市1/4）

4 その他参考事項

公立豊岡病院組合医師修学資金貸与制度は、貸与期間と同じ期間を公立豊岡病院組合内の病院で勤務することにより返還免除されるが、医師修学一時資金貸付制度では、必ず返還する必要がある。

担当課名【健康増進課】（内線3102）

施策体系番号1-2-2

No.35 事業名 小児救急電話相談の実施	24年度 予算額	737 千円	新規 拡大 継続
-----------------------	-------------	--------	----------------

1 事業目的（趣旨）

但馬圏域の小児患者の保護者等からの電話相談に対し、小児科医のバックアップ体制のもと、看護師又は専任の相談員により必要な症例に対して適切な対応方法、受診への助言及び適切な受診医療機関の紹介を行うとともに、適切な助言の提供や不安の低減を図ることにより、効率的な救急医療体制の構築を目的として電話相談を行う。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

公立豊岡病院内に、医療機関勤務の看護師又は専任の相談員を配置し、毎夜間（準夜及び深夜）、日祝日及び年末年始の昼間に電話相談窓口を開設する。

(2) 事業期間

平成 24 年度～

(3) 事業主体

但馬 3 市 2 町

3 24 年度予算

(1) 予算額

737 千円（豊岡市負担額）

24 年度全体事業費 4,500 千円（県負担額 3,000 千円、但馬 3 市 2 町負担額 1,500 千円）

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

小児救急電話相談については、全県を対象とした #8000 があるが、地域医療の実情を把握している医療機関に相談窓口を設けることにより、きめ細かい対応が可能となる。

担当課名【健康増進課】（内線 3102）

施策体系番号 1-2-2

No.36	事業名 高橋診療所の直営による運営	24年度 予算額	34,298 千円	新規 拡大 継続
-------	-------------------	-------------	-----------	----------------

1. 事業目的（趣旨）

市立高橋診療所は、平成23年度まで指定管理方式により運営を行っていたが、指定管理者である「但東の健康と医療を守る会」より①赤字経営が続いていること、②医師が高齢化していることを理由に診療所の運営を豊岡市へ移管して欲しい旨の申し出を受け、平成24年度から市の直営として運営する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

他の市立診療所に準じた医療サービスの提供を基本とし、現在、実施している①患者の送迎、②併設のデイケアセンター（通所リハビリテーション）は廃止する。

診療所の運営にあたっての最大の課題である医師の招聘については、関係機関やホームページなどにより募集しているが、全国的な医師不足の現状の中で、現在のところ後任の医師の目処が立っていない。後任の医師が見つかるまでの間は、現在の医師が引き続き診療を継続する。

配置人員5人（医師1人、看護師3人、事務職員1人）

(2) 事業期間

平成24年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3 24年度予算

(1) 予算額

34,298千円

担当課名【健康増進課】（内線3102）

施策体系番号 1-2-2

No.37	事業名 定住推進	24年度 予算額	10,695 千円	新規 拡大 継続
-------	----------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

①高校生通学バス定期補助

高校生の通学にかかる経費負担を軽減し、若者の定住促進及び公共交通利用促進を図るため、バス定期の購入代金の一部を補助する。

②但馬技術大学校授業料補助

但馬技術大学校生の市内企業への就労及び定住の促進を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

①高校生通学バス定期補助

高校生の通学にかかるバス定期代の一部を補助

②但馬技術大学校授業料補助

但馬技術大学校卒業後、ただちに市内に居住し、市内企業に就労を希望する学校生（大学校長推薦者）の授業料（2年次相当分）を補助

(2) 事業期間

①高校生通学バス定期補助 平成23年度～

②但馬技術大学校授業料補助 平成21年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3 24年度予算

(1) 予算額

①高校生通学バス定期補助 9,700千円

②但馬技術大学校授業料補助 995千円

(2) 事業内容

①高校生通学バス定期補助

補助対象者 市内に居住する高校生を養育する者

補助内容 通学にかかるバス定期代の一部を補助

補助額 1月当たりの個人負担の上限を15千円とし、その額を超える分の全額

②但馬技術大学校授業料補助

補助対象者 但馬技術大学校卒業後、ただちに市内に居住し、市内企業に就労を希望する学校生（大学校長推薦者）

補助内容 1人当たり199千円（授業料：1年次無料、2年次199千円）

対象人数 5人

担当課名【経済課】（内線2309、2315）

施策体系番号 3-3-1

No.38 事業名 商工振興事業の推進	24年度 予算額	3,316 千円	新規 拡大 継続
---------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

地域の特性を生かした魅力ある商業空間を創出し、賑わいと活力のあるまちを目指す。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

商工会議所や商工会などの商工団体の自主的なイベントや環境整備等の事業に対し、補助を行う。

(2) 事業期間

平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月

(3) 事業主体

豊岡市、柳まつり実行委員会、宵田商店街振興組合、日高町商店会連合会 等

3 24 年度予算

(1) 予算額

3,316 千円

(2) 事業内容

○柳の屋台村補助（柳まつり事業補助金） 300 千円

8 月 1 日、2 日の柳まつりの特設会場及び通路（歩行者天国）において、市内業者や団体による飲食や物品の販売、かばんノミの市やバザーを実施する実行委員会に対し運営費の一部を補助する。

○宵田商店街活性化事業 200 千円【新規】

宵田商店街振興組合が実施する商店街活性化事業に対して支援を行う。県商店街活性化事業（元気づくり事業）の市随伴補助分の負担をする。

○江原駅前街路灯整備 1,890 千円【新規】

日高町商店会連合会において、日吉区及び江原区（一部）に係る街路灯の改修整備事業を実施する。市は、改修整備に係る経費の一部（1/3）を補助する。

○起業サポート奨励金制度の創設 926 千円【新規】

豊岡市内で起業する事業者で、日本政策金融公庫の融資を受けた事業者に対し、開業資金を一部助成する。

担当課名【経済課】（内線 2300）

施策体系番号 3-1-6

No.39 事業名 経済成長戦略の推進	24年度 予算額	30,253 千円	新規 拡大 継続
---------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

地域の担い手である若者の定住・雇用を安定するとともに、本市の経済・産業を活性化させ、市内総生産を向上させることで、持続可能な地域社会を構築し、将来像である「環境都市『豊岡エコバレー』」を目指す。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

①技術革新支援

地域産業の振興や地域経済の活性化のため技術革新に取り組む事業者を支援する。

②産官学連携

大学の持つ知見、識見等により、産業界や市の課題の解決やニーズの充足を図る。

③労働力確保支援

地元高校生等の地元就職率を向上させるとともに、都会に流出した学生や若年者のU・I・Jターン推進し、若年者雇用の確保を支援する。

④食の都づくり推進

優位性のある食材やテーマで、地産地消を進め、新しい食文化で地域に大きなムーブメントを創出する。

⑤豊岡ものづくり支援センターの推進

産業競争力を高めるため、技術相談員によるものづくり支援を行う。

⑥豊岡市工業会支援

同業種・異業種・産官学などによる交流を通して、地域経済の発展を目指す工業会を支援する。

⑦企業ガイドブックの作成

市内にある優良企業を広く紹介し、人材確保を支援する。

⑧事業承継推進

相続紛争や業績悪化を防止するとともに、中小企業への事業承継を支援し円滑な事業承継を推進する。

⑨環境経済型事業認定・支援制度の創設

環境経済型事業の認定制度やその他有効な支援制度を創設し、環境経済型企業を集積する。

(2) 事業期間

- ・②、⑦は平成21年4月1日～
- ・⑤、⑥は平成23年4月1日～
- ・⑨は平成24年4月1日～
- ・上記以外は平成22年4月1日～

(3) 事業主体

豊岡市

3 24年度予算

(1) 予算額

30,253千円

(2) 事業内容

①技術革新支援 20,261千円

環境経済型の新製品等開発事業や市場適応能力を高める先駆的な取組事業などのほか、環境経済型以外の新製品等開発事業や新分野進出支援事業などの技術革新事業に対して補助を行う。

②産官学連携 212千円

兵庫県立大学や産官学公人材イノベーション推進協議会（兵庫県立大学大学院経営研究科事務局）との連携協力を推進する。

③労働力確保支援 1,138千円

インターンシップ（職場体験）の実施、就職フェアの開催など若年者雇用の確保を支援する。

④食の都づくり推進 4,103千円【拡大】

ジビエ料理の発表会や豊岡グルメガイドの作成、菓子祭前日祭への補助及び菓子振興事業を行う。

⑤豊岡ものづくり支援センターの推進 2,062千円

技術相談員による企業訪問相談や技術課題に対する研究機関等への橋渡しを行うとともに、兵庫県立大学包括協定に基づく、ものづくりセミナーや技術相談を開催する。

⑥豊岡市工業会支援 200千円

豊岡市工業会の事業費の1/2を補助する。

⑦企業ガイドブックの作成 1,199千円

2013年度版企業ガイドブックを作成し、就職を控える学生等に配布する。

⑧事業承継推進 125千円

事業者及び後継者を対象としたセミナーや実務家向けセミナーを開催するとともに、相談受入体制を整備する。

⑨環境経済型事業認定・支援制度の創設 953千円【拡大】

環境経済型事業の促進策の一つとして事業認定を先行実施するとともに、その他有効な支援制度を創設する。また、環境経済の啓発と事業認定PRのため、記念フォーラムを開催する。

担当課名【経済課】（内線2306）

施策体系番号：3161、3174、3181

No.40 事業名 中心市街地活性化基本計画の推進	24年度 予算額	888 千円	新規 拡大 継続
---------------------------	-------------	--------	----------------

1. 事業目的（趣旨）

豊岡駅通等を中心とした市街地が、まちの個性や歴史を活かした取組みを行い魅力あるまちを目指す。

2. 全体の事業内容

(1) 内 容

中心市街地の関係者により中心市街地の活性化事業を推進する。

(2) 事業期間

平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月

(3) 事業主体

豊岡市

3. 24 年度予算

(1) 予算額

888 千円

(2) 事業内容

○庁内組織及び庁外組織による計画の推進（147 千円）

数値目標の検証、事業の評価・検証、戦略プロジェクト調整や新たな戦略プロジェクトの検討等）

○中心市街地のまちづくりセミナー開催（188 千円）

他市活動事例紹介及びまちづくり専門員による講演、パネルディスカッション等

○交通量調査事業（250 千円）

歩行者及び自転車等の通行量を調査し、定量的に分析する調査業務一式

○中心市街地活性化対策事務（303 千円）

担当課名【経済課】（内線 2303）

施策体系番号 3-1-6

No.41	事業名 定住促進	24年度 予算額	8,362 千円	新規 拡大 継続
-------	----------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

経済成長戦略プロジェクトとして、定住及びU I Jターンを推進し、活力あるまちづくりを図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

【空き家バンク制度】

空き家等の物件情報を登録してもらい、求める方へ情報提供し、空き家等の流動化の促進と定住人口の増加を目指す。

【田舎暮らし体験施設】

移住を希望する方に、豊岡を肌で感じてもらうことにより移住に対する不安を払拭するため、田舎暮らしのお試し住宅を運営する。

【中山間地域定住促進】

過疎地域や辺地集落等にある空き家バンク登録物件の改修費用を補助し、空き家の流動化と定住促進を図る。補助率4分の3以内、1,000千円を限度とする。

(2) 事業期間

平成21年度～

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

8,362千円（平成24年度）

3 24年度予算

(1) 予算額

8,362千円

(2) 事業内容

① 空き家バンク制度 133千円

空き家・空き土地と利用希望者のマッチング

② 田舎暮らし体験施設 2,229千円【拡大】

既存施設（但東町中山）の運営、新規施設の確保

③ 中山間地域定住促進 6,000千円

空き家改修費用の助成（過疎地域分は過疎地域戦略的プロジェクトへ再掲）

担当課名【経済課】（内線2314）

施策体系番号 3-3-1

No.42	事業名	過疎地域戦略プロジェクト の推進	24年度 予算額	161,333 千円 (他の各事業 予算に再掲)	新規 拡大 継続
-------	-----	---------------------	-------------	-----------------------------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

過疎地域戦略プロジェクトは、地域ごとに住民による検討・議論の中から提案いただいた事業を中心に構成し、行政の発想で進める事業ではなく、地域が想いを描き、地域のために進める事業を市が支援することを基本としている。過疎債ソフト事業分の財源を有効に活用し、地域の特徴を活かした事業推進により、強力に過疎地域振興を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

キャッチフレーズ及び事業概要

【城崎地域】『奇跡の温泉街“きのさき”の新たな挑戦』

【竹野地域】『竹野スタイルの推進』

【但東地域】『たんとう“きずな”プロジェクト』

(2) 事業期間 平成23年～平成27年

(3) 事業主体 民間（地元組織、観光・商工関係団体等）、市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

全体事業費 調整中（過疎債を充当し実施予定）

3 24年度予算

(1) 予算額

城崎地域分 51,712千円、竹野地域分 22,700千円

但東地域分 77,900千円、全地域関係分 9,021千円 計 161,333千円

(2) 事業内容（補助等含む）

城崎地域：①イベント花火②湯めぐり巡回バス③レンタサイクル④インフォメーションセンター設置【新規】⑤城崎ゆかたフェスタ⑥音声ガイド【拡大】⑦柳並木ライトアップ【拡大】⑧フロント用ディスプレイ【新規】⑨外国語版予約システム【拡大】

竹野地域：①三原谷の風まつり②地域特産物普及開発【拡大】③子ども農山漁村体験④たけの海上花火大会⑤竹野浜光のプロムナード⑥ジオ資源活用【拡大】⑦ジオコンシェルジュ育成⑧ジオエリア保全【拡大】⑨地域情報発信【新規】⑩体験型観光・外客誘致促進【拡大】⑪漁業資源保護活用【拡大】

但東地域：①集落支援員の設置とアドバイザー派遣②ツーリズムプランの企画・立案③里山景観ポイントの整備【拡大】④（仮）寺小屋東井教育塾の設置⑤但東花公園整備⑥但東シルク温泉やまびこ厨房改修【新規】⑦高校生通学バス定期補助

全域関係：①中山間地域定住促進（空き家改修補助）②プロモーション制作【拡大】③交通空白地域支援

担当課名【経済課】（内線 2314）

施策体系番号 6-1-1